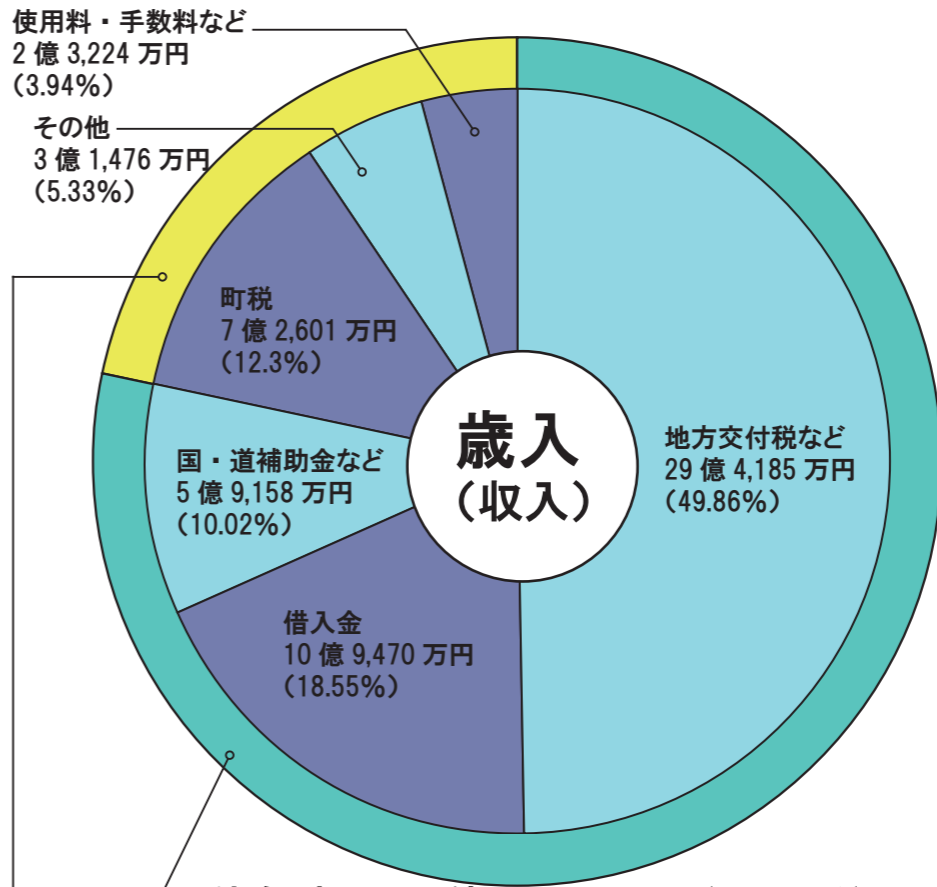


決算報告

町では、皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているのかを知っていただくために、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。今回は、9月議会で承認された平成27年度決算の概要についてお知らせします。

一般会計【歳入】 59億114万円



依存財源 46億2,813万円 (78.43%)
 ○ 地方交付税、借入金、国・道補助金など

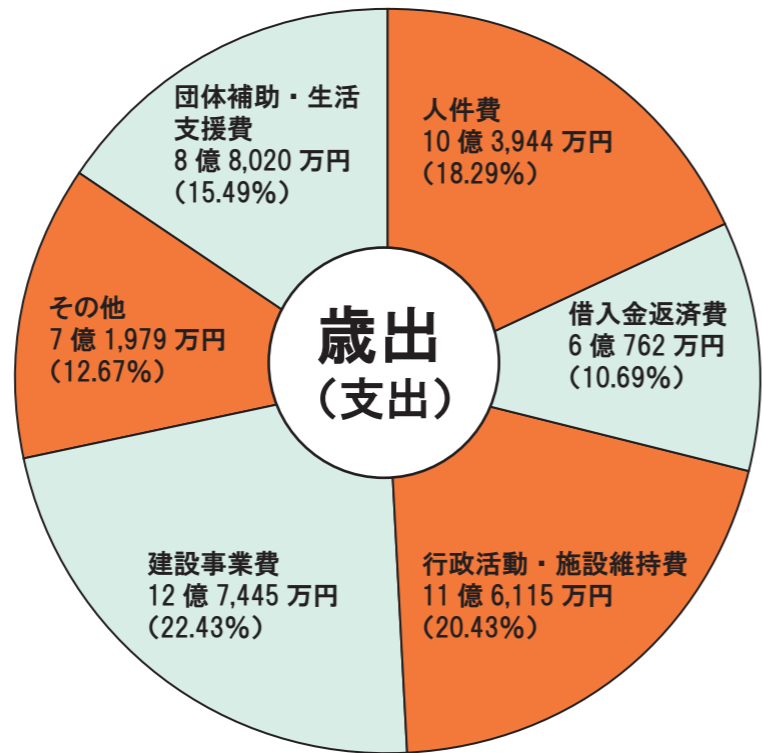
自主財源 12億7,301万円 (21.57%)
 ○ 町税、使用料・手数料など

★平成27年度決算を町民一人当たりにとすると



※一人当たりの金額は、左ページの特別会計分も含め、計算しています。

一般会計【歳出】 56億8,265万円



- 【人件費】**
職員給与・議会議員報酬など
- 【借入金返済費】**
大きな事業を行なうために借り入れたお金の返済
- 【行政活動・施設維持費】**
一般行政活動を行う経費や施設などの整備に使った維持的経費
- 【建設事業費】**
道路、公共施設、産業基盤などの整備に使った投資的経費
- 【その他】**
一般会計から特別会計に繰り出したお金、基金の積立など
- 【団体補助・生活支援費】**
団体への負担金や補助金、高齢者・障がい者への生活支援費

会計	歳入 (収入)	歳出 (支出)	差引
簡易水道	2億6,341万円	2億5,333万円	1,008万円
国民健康保険	9億9,033万円	9億4,571万円	4,462万円
公共下水道	2億4,822万円	2億3,720万円	1,102万円
介護保険	5億2,376万円	5億1,107万円	1,269万円
介護サービス	2億4,426万円	2億3,196万円	1,230万円
後期高齢者医療	8,313万円	8,220万円	93万円

基金と起債

◆基金 (貯金) 51億1,540万円

◆起債 (借金) 87億6,003万円

一般会計の概要

我が国の経済情勢は急速な高齢化を背景として社会保障経費の増加、リーマンショック後の経済危機への対応、名目経済成長率の低迷といった様々な困難に直面しています。このため、国の平成27年度予算の基本的な考え方は、「経済の好循環」の更なる拡大を実現し本格的な成長軌道への移行を図りつつ、裁量的経費のみならず義務的経費等も含め、聖域を設けずに大胆に歳出を見直し、無駄を最大限縮減し、民間需要や民間のイノベーションの誘発効果が高いもの、緊急性の高いもの、規制改革と一体として講じるものを重視したメリハリのついた予算編成が図られました。

このような中、本町における平成27年度予算編成においては、昨年同様に第4期佐呂間町総合計画が目指す将来像実現に向け、将来を見据えた計画的な予算となるようコスト意識を持ち、限られた財源と人員の中で最大の事務事業効果を発揮できるように、国や道などの補助制度の積極的な活用と、交付税措置が見込まれる有利な起債の発行による財源確保に努め、バランスの取れた行財政運営を推進する一方、町長の公約を踏まえた独自施策の積極的な展開ができる予算編成を行いました。

本年度の地方交付税総額は、臨時財政対策債を含め28億8,110万円(前年度比4,816万円増)で、1.7%の増となりましたが、引き続き義務的経費のより一

層の抑制はもとより、補助金や町債等による財源確保に努めながら、最重要課題である地域医療再編整備事業のため、クリニックさろま新築工事(26年度からの2箇年継続事業)や道路改良工事、医療機器の購入などを実施しました。また、土地改良や町有林整備事業など第一次産業基盤整備をはじめ、簡易水道拡張事業や町道改良舗装事業などのインフラ確保事業、佐呂間中学校外壁塗装工事や小中学校非構造部材等耐震化工事などの教育関連施設整備に取り組みました。

また、国の地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、平成26年度予算に繰越明許事業として計上しました佐呂間町サポーターズ倶楽部事業、ふれあいタクシー業務委託、幼児用遊具整備工事、プレミアム付全町共通商品券発行事業、住宅建設促進事業、商業活性化事業、さろまちこん開催補助金、観光施設の整備工事、物産館のり改修工事及びパークゴルフ場芝生整備工事を実施しました。

この結果、当初予算で見込んでいた財源補てんの基金繰入金はずべて減額し、最終的な余剰金として財政調整基金へ3億4,200万円の積立てを行い、前年度繰越明許費を含めた最終予算額を59億6,894万円(前年度比3億9,011万円増)としました。決算額については歳入決算額59億1,144万円、歳出決算額56億8,265万円となり、翌年度繰越財源4,325万円を差し引いた実質収支差引残額は1億7,525万円となりました。